
いち行でひとを殺すことば

中川京人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

いち行でひとを殺すことば

【Nコード】

N0733V

【作者名】

中川京人

【あらすじ】

火花と火薬のどちらに爆発の責任があるかと問われれば、ひとは自分から遠い方を指差すだろう。だからいち行でひとを殺すことばが指差されることはない。

いち行でひとを殺すことばがあるという

ああそれは呪文のことですと 暗闇から声がした
古よりいくつか伝わります とても全部はお見せできませんがね
立ち去れ 袋をかぶった者
匿名のおまえたちは

おまえたちの日用品がそう呼ばれることに期待しただけだ

いち行でひとを殺すことばはあるのか
ありますとも 忘れていただけですと ドアが開いて澄んだ瞳が語る
ひとはみな それを聞いて生まれてくるのです だからみな 死ぬ
運命なのです

立ち去れ 三百代言

わたしはおまえの手には負えない

いち行でひとを殺すことばとは何なのか
痴れ者が立ち上がった言う
それはね いち行といっても 四億文字くらいあるんですよきつと
読んでいるうちに死んでしまいますよきつと

いち行でひとを殺すことばはどこにある
あなたそれはいけませんと 美しいひとがため息をつく
そんなものを探してはいけません わたしたちは ひとを生かすこ

とばを知るべきです

地雷で枕の代用なんてできませんもの

いち行でひとを殺すことばを捜しているんですか

律儀な人物がささやく

それはあなたの中にあります

わたしに教えていただければ

そのひとは来週のうちには死にます

いち行でひとを殺すことばはないのか

もちろんあると 詩人がうめく

わたしの詩の中にある 人には見せられない

詩人よ あなたの言うことが信じられない

似たことばが この世に出ないということも

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0733v/>

いち行でひとを殺すことば

2011年10月9日09時23分発行